



沖縄地区税関 管内貿易概況（速報）

令和4年4月分

※税関は150周年を迎えます。

（増減・伸率は対前年同月比）

●今月のポイント

●輸出

・**輸出総額は26億54百万円、対前年同月比84.4%減(2ヵ月ぶりの減少)**

- ・主な減少品目は「再輸出品」(▲96.3%)、「一般機械」(▲35.2%)、「生ゴム」(全減)
(主な増加品目は「鉄鋼」(566.5倍)、「金属鉱及びびくず」(7.2倍)、「飲料」(85.4%))
- ・国(地域)別構成比は台湾(32.3%)、韓国(17.9%)、ドイツ(14.2%)、アメリカ(8.4%)、香港(6.0%)

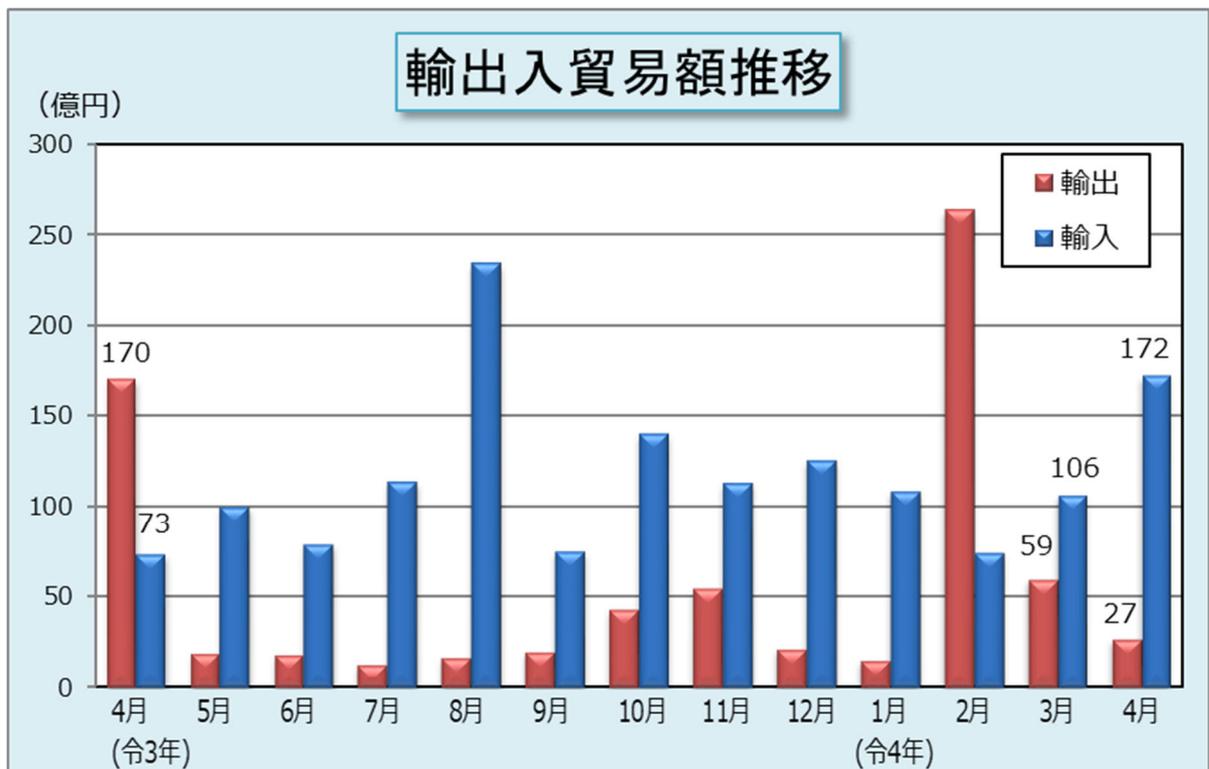
●輸入

・**輸入総額は171億74百万円、対前年同月比2.3倍(7ヵ月連続の増加)**

- ・主な増加品目は「天然ガス及び製造ガス」(殆全増)、「石炭」(4.3倍)、「その他の動植物性原材料」(6.9倍)
(主な減少品目は「電気機器」(▲48.1%)、「石油製品」(▲94.2%)、「肉類及び同調製品」(▲14.8%))
- ・国(地域)別構成比はオーストラリア(56.1%)、アメリカ(8.5%)、中国(6.8%)、イタリア(4.3%)、カナダ(4.0%)

●差引

・**差引額は145億20百万円の入超(前年同月は96億95百万円の出超)**



1. 輸出動向

(1) 主要品目別動向

品名(金額・伸率)	構成比	主要国(地域)(金額・伸率)
1 再輸出品 (5億82百万円、▲96.3%)	21.9%	ドイツ(3億75百万円、全増) アメリカ(1億87百万円、62.7倍)
2 金属鉱及びびくず (5億18百万円、7.2倍)	19.5%	韓国(4億38百万円、10.2倍) マレーシア(76百万円、4.4倍)
3 鉄鋼 (5億10百万円、566.5倍)	19.2%	台湾(5億10百万円、全増)
4 一般機械 (2億72百万円、▲35.2%)	10.3%	台湾(97百万円、15.2%) アラブ首長国連邦(40百万円、72.4%)
5 パルプ及び古紙 (2億47百万円、36.1%)	9.3%	台湾(1億60百万円、63.9%) インドネシア(60百万円、71.3%)
<p>増加品目(増加額・伸率) 主な増加国(地域)</p> <p>1 鉄鋼(+5億9百万円、566.5倍) 台湾</p> <hr/> <p>2 金属鉱及びびくず(+4億46百万円、7.2倍) 韓国、マレーシア</p> <hr/> <p>3 飲料(+75百万円、85.4%) 中国、台湾</p> <hr/> <p>減少品目(減少額・伸率) 主な減少国(地域)</p> <p>1 再輸出品(▲149億99百万円、▲96.3%) 韓国、シンガポール</p> <hr/> <p>2 一般機械(▲1億48百万円、▲35.2%) ドイツ、シンガポール</p> <hr/> <p>3 生ゴム(▲96百万円、全減) アメリカ</p>		

(2) 主要国(地域)別動向

国(地域)名(金額・伸率)	構成比	主要品目(金額・伸率)
1 台湾 (8億58百万円、3.1倍)	32.3%	鉄鋼(5億10百万円、全増) パルプ及び古紙(1億60百万円、63.9%)
2 韓国 (4億74百万円、▲96.8%)	17.9%	金属鉱及びびくず(4億38百万円、10.2倍) 加工油脂及びびろう(14百万円、2.7倍)
3 ドイツ (3億78百万円、7.2倍)	14.2%	再輸出品(3億75百万円、全増)
4 アメリカ (2億23百万円、▲36.1%)	8.4%	再輸出品(1億87百万円、62.7倍) 飲料(25百万円、2.7倍)
5 香港 (1億58百万円、▲4.7%)	6.0%	肉類及び同調製品(79百万円、21.0%) 穀物及び同調製品(23百万円、▲7.7%)

2. 輸入動向

(1) 主要品目別動向

品名(金額・伸率)	構成比	主要国(地域)(金額・伸率)
1 天然ガス及び製造ガス (56億96百万円、殆全増)	33.2%	オーストラリア (56億94百万円、全増)
2 石炭 (42億6百万円、4.3倍)	24.5%	オーストラリア (38億55百万円、3.9倍) ロシア (3億51百万円、全増)
3 一般機械 (9億79百万円、25.7%)	5.7%	カナダ (5億65百万円、21.0%) アメリカ (1億75百万円、79.4%)
4 その他の雑製品 (7億43百万円、▲0.9%)	4.3%	イタリア (1億94百万円、8.4倍) フランス (1億89百万円、2.2倍)
5 肉類及び同調製品 (7億37百万円、▲14.8%)	4.3%	デンマーク (1億81百万円、12.0%) アメリカ (1億14百万円、66.4%)
<p>増加品目(増加額・伸率) 主な増加国(地域)</p> <p>1 天然ガス及び製造ガス (+56億94百万円、殆全増) オーストラリア</p> <hr/> <p>2 石炭 (+32億20百万円、4.3倍) オーストラリア、ロシア</p> <hr/> <p>3 その他の動植物性原材料 (+3億15百万円、6.9倍) インドネシア、マレーシア</p> <hr/> <p>減少品目(減少額・伸率) 主な減少国(地域)</p> <p>1 電気機器 (▲2億59百万円、▲48.1%) アメリカ、中国</p> <hr/> <p>2 石油製品 (▲1億78百万円、▲94.2%) 韓国</p> <hr/> <p>3 肉類及び同調製品 (▲1億28百万円、▲14.8%) アイルランド、タイ</p> <hr/>		

(2) 主要国(地域)別動向

国(地域)名(金額・伸率)	構成比	主要品目(金額・伸率)
1 オーストラリア (96億32百万円、8.4倍)	56.1%	天然ガス及び製造ガス (56億94百万円、全増) 石炭 (38億55百万円、3.9倍)
2 アメリカ (14億52百万円、44.6%)	8.5%	穀物及び同調製品 (2億71百万円、3.3倍) 果実及び野菜 (2億25百万円、4.9倍)
3 中国 (11億62百万円、▲3.8%)	6.8%	家具 (1億67百万円、58.6%) 一般機械 (1億35百万円、14.2%)
4 イタリア (7億37百万円、3.0倍)	4.3%	バッグ類 (4億25百万円、2.4倍) その他の雑製品 (1億94百万円、8.4倍)
5 カナダ (6億92百万円、12.6%)	4.0%	一般機械 (5億65百万円、21.0%) 穀物及び同調製品 (75百万円、67.8%)

- ◆本資料における貿易額は、管内各官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額です。
- ◆「再輸出品」とは本邦から輸出する外国産貨物をいい、「再輸入品」とは本邦に輸入する内国産貨物をいいます。
- ◆税関ホームページ内「貿易統計」ページでは、下記資料の検索・閲覧が可能です。
《ホームページアドレス <https://www.customs.go.jp/>》
 - 各種貿易統計データの検索（品目・国・税関ごとの貿易額、船舶・航空機統計等）
 - 財務省及び各税関（地域）の貿易統計発表資料、その他の参考資料
- ◆本資料を引用する場合は、沖縄地区税関の資料による旨を注記して下さい。
- ◆不明な点がございましたら、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

沖縄地区税関 調査部 調査統計課
沖縄県那覇市港町 2-11-1 那覇港湾合同庁舎 3階
TEL. 098-862-9650

令和4年5月15日に沖縄地区税関は
発足50年を迎えたワン！

